



セミナー通信

②

発行：NPO法人日本温熱療法協会
三井とめ子温熱臨床研究 温熱療法師会
編集：広報部

2012年6月27日(水) 小岩区民館 温熱セミナー温熱体験会 報告

12:20～ 昼食をとりながら近況報告や気になる話題など、今回は「歯」の治療について インプラントについて、アメリカの医療事情、保険診療と自費診療などの話題で盛り上がりました。歯の問題は皆さん抱えておられるようです。

13:30～ 温熱セミナー・温熱体験会

出席者： 山本先生、草薙先生、江副先生、林先生、
温熱療法師：増山・土屋・山本・子松
温熱体験者4名



山本先生のお話 14:10～

「夏ほど体は冷える」

夏なのに熱い温熱はどうなのかという質問があったので、それについてお答えします。

今の時期は夏の体になろうとしているのに、急に暑くなったと思ったら急に涼しくなったりすると体の冷えはより強く感じられます。薬の服用などがあると気圧の変化も影響を受けます。どこにでも冷房が入る現在の生活で、体は夏こそ冷やされています。

年を重ねると体のバッテリーが小さくなり、自分の体で熱が作れなくなってきました。

三井先生のおっしゃるように体は熱で動くのですから、いったん冷えると戻りにくくなります。

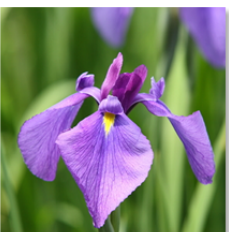
温熱療法は早期発見・早期治療が出来ますから、是非続けて下さい

療法師の体験談

増山さん 温熱療法をするようになって喘息が治りました。

山本さん 自分の体のケアと夫や孫のケアに温熱を活用しています。

子松さん ヘナで髪を染めて湿疹と痒みに悩まされましたが、温熱療法で病院に行かずにすみました。



14:20～15:20 温熱体験 4名(うち2名はリピーター)

15:30～16:00 温熱をかけた療法師と温熱体験者の感想を発表

お互いの感想に、山本先生、草薙先生、江副先生、林先生のコメントが入りました。

体験者の感想と感動

Aさん 極度の冷え、手足がしめった冷たさだったのが、手がさらさら、顔の血色が良くなりました。温熱器は持っているのだが、全く違った使い方をしていました。

Bさん いつも施術をして頂いているのだが、どんな風に温熱をかけるのか見てみたいということで 施術を見学。思っていたよりも体圧がかかっているのですね。自分もしてみたいと思いました。

Cさん 自分が自覚していない冷えがあることを指摘されました。

Dさん 熱い温熱施術をして頂き、年会費の元が取れた思いです。温熱器を持っているのですが、こんな熱くは使えていません。

山本先生の症例と治療についてのお話

手のしびれや関節の痛みを訴えると、すぐリウマチとか膠原病と診断を受けるケースが目立ちます。本当にリウマチや膠原病なのかを見極める目を育てたいとおっしゃっていました。実は筋肉痛だったというケースもあります。



年を取ると、すぐに症状が出なかったり、すぐに出ないといつやったかも忘れることがあります。

甲状腺のトラブルを持っている人は、襟のある上着を着るとか、スカーフを首に巻くとか工夫することなどのアドバイスがありました。

林先生の体験談から

手術で切る前になんとかならないか

手術で切った後になんとかならないか、手当の方法が分かれば怖くない。

いったん取ってしまった後の大変さは、想像以上のものがありました。

16:00 閉会

